

議会だより

2017

よしか

第44号



・ 第1回定例会・議案・当初予算	… 2～3頁	・ 現地調査写真	… 10頁
・ 主な質疑	… 4～6頁	・ 一般質問	… 11～15頁
・ 臨時会	… 6頁	・ 発議	… 15頁
・ 全員協議会	… 7～8頁	・ 議会動向・編集後記	… 16頁
・ 議案の議決結果確認表	… 9～10頁		

平成29年 第1回(3月)定例会

平成29年第1回定例会が3月6日から3月22日までの17日間開催され、新年度予算をはじめとする議案29件、報告2件、発議2件を審議しました。

真田グラウンド（よしかみらい）はオープン以来交流人口が1万4千人を超え、ナイター照明の設置も決まりました。

議案

- 1) 平成28年度吉賀町興学資金基金特別会計補正予算（第1号）外6件
- 2) 平成28年度吉賀町一般会計補正予算（10号）（11号）
- 3) 吉賀町過疎地域自立促進計画の変更
- 4) 請負契約の変更
- 5) 吉賀町子育て世代包括支援センター設置条例の制定
- 6) 蔵木中・六日市中統合検討委員会設置条例の制定
- 7) 吉賀町非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例 外6件
- 8) 平成29年度吉賀町興学資金基金特別会計予算 外6件
- 9) 平成29年度吉賀町一般会計予算
- 10) 平成29年度吉賀町水道事業会計予算

報告案件

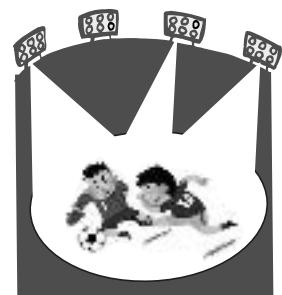
- 1) 放棄した私債権の報告
- 2) 議会委任による専決処分報告

発議案件

- 1) 過疎地における水道事業への過疎債適用を求める意見書（案）
- 2) 米の所得補償交付金の復活を求める意見書（案）

主な条例改正

- ・吉賀町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ・吉賀町税条例等の一部を改正する条例
- ・吉賀町地域自立支援協議会設置条例の一部を改正する条例
- ・吉賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・吉賀町斎場条例の一部を改正する条例
- ・吉賀町営住宅条例の一部を改正する条例



【平成29年度当初予算】

一般会計	68億2,695万円	特別会計	24億8,847万円
昨年度当初予算	65億2,715万円	昨年度当初予算	24億7,429万円

水道事業会計	3億8,023万円
--------	-----------

※水道事業会計は、平成29年度より地方公営企業会計となるため、収益的支出額と、資本的支出額の合計を記載

平成29年度当初予算の主な概要

【歳入】

(単位:千円)

目名等	予算額	概要
町税	547,962	町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税等
地方交付税	3,307,723	臨時財政対策債 (153,244)
繰入金	576,063	
町債	1,029,900	過疎債 (646,300) 合併特例事業債 (298,900)

【歳出】

(単位:千円)

事業名等	予算額	概要
吉賀町版地方創生事業費	79,984	安心して働ける「しごと」をつくる
	150,774	「結婚」「出産」「子育て」の希望をかなえる
	129,049	新しい「ひとの流れ」をつくる
	527,470	「協働と連携」により住みよいまちをつくる
吉賀高校支援対策事業費	26,809	特色ある吉賀高校学校づくり支援に関する経費(よしか公設塾を新設)
庁舎維持管理費	275,511	両庁舎の設備の更新等
その他財産管理費	31,654	旧白谷小学校の解体・撤去工事費等
施設型保育給付事業費	274,497	保育所運営費負担金及び法人保育所運営費補助金等
地域医療確保緊急対策事業補助金	256,674	六日市病院支援計画に基づく補助
農地環境整備事業費	57,063	土地改良事業計画に基づき圃場整備事業を実施
「彫刻の道」整備事業費	55,410	公園の拡充整備
橋梁維持管理費	57,140	橋梁の計画的な維持管理と長寿命化の推進
公営住宅等整備事業費	109,130	沢田団地の設計、建設工事費等
保健体育施設整備事業費	140,357	真田グラウンド照明設備整備事業等
長期債元金	713,550	町債償還元金

主 な 質 疑

平成28年度吉賀町一般会計補正予算

【繰越明許費について】

大多和議員

- ◆ 基本的に町の予算は、単年度執行ということですが、やむを得ず繰越明許しなくてはならないということで計上されていると思われま。昨年3月議会で通過したにも関わらず、繰越明許費で計上されている事業が幾つか見られますが、その理由を聞きます。

【副町長・各所管課長】

14事業をやむを得ず繰越ということで提案しました。

理由は、入札の延長、事務の不手際、評価の取りまとめの遅れ、国の補正予算の関連、工事の遅れ、調査の見落としなどです。

平成29年度吉賀町一般会計予算

【盛太ヶ岳の湧水の調査は】

庭田議員

- ◆ 盛太ヶ岳の湧水調査は、水の販売をする事業と思われまますが、行政がどこまでのことをするのか計画されていますか。

【町長】

山からの湧水が資源になれば、水道会計の補完になるのではと進めています。民間でやっていただければ一番いいかもしれませんが、とりあえず企業会計として成り立つのではと考えています。

【防災無線の移転について】

中田議員

- ◆ 立河内集会所の建替工事に伴い、防災無線も移転することですが、昨年の火災の時も、立河内地内の一部地域で全然聞こえなかったとの意見もありましたので、考慮していただきたいと思いま。

【総務課長】

移転先は、集会所付近で敷地の一角と考えていまますが、多少の不具合が出るかもしれませんが、スピーカーの向きを調整するしかないかと思いま。

【彫刻の道の管理は】

桑原議員

- ◆ 澄川先生のモニュメントが設置されている公園の管理について、ゆららの条例の中にモニュメント及び公園の管理と記載されていまますが、今後もゆららの指定管理のままでいくのか、別々に線引きをするのかを聞いま。

【企画課長】

指定管理の期間は5年となっており、年度途中で管理方法を変えることは非常に困難で、期間が終わるまでは現在の契約でやり、整備が完了した時点を目標に条例を改め彫刻の道とゆららとで切り離す考えで予定していま。



(オープンを待つモニュメント)

【蔵木グラウンドゴルフ場の管理は】

桜下議員

- ◆ 管理について、地元の強い要望により、「指定管理」に向けた方法を検討されているが、進捗状況を聞きます。

【教育次長】

29年度は、直営で管理をします。今後は、総務課とも協議しながら、早い時期に「指定管理」で対応していきたいと思えます。



(蔵木グラウンドゴルフ場)

【地籍調査について】

三浦議員

- ◆ 地籍調査の現在の進捗率、地域的な状況と、調査があと何年かかるのかを聞きます。また、現時点で開発や売買等の話で支障が出た場合、どのような対応をしますか。

【税務住民課長】

国有林・圃場整備の面積を除いた部分が、全体で268.83平方キロあり、旧六日市町においては、6.9平方キロ、旧柿木村では5.03平方キロで、進捗率は4.47%です。

平地部分の終了も10年余りの期間が必要と思えます。

【町長】

山林については、林野庁関係の「境界確認事業等」を要望していきたいと考えています。

【庁舎改修について】

藤升議員

- ◆ 町役場の改修工事が計画されていますが、

庁舎ごとの工事費について聞きます。

【総務課長】

直接工事費で本庁舎が1億1,708万円、柿木庁舎が6,112万円で、共通費を含め、全体で2億4,000万円強となっています。



(本庁舎)

賛成討論

桜下議員

- * 県内ほとんどの自治体予算は、約2%前後のマイナスになっている中、4.6%増の予算規模となっています。

全国に誇れる子育て支援策もすべて継続となっています。かねてから要望のありました障がい者地域活動支援センターの設計業務委託費、高齢者の運転免許自主返納事業費等計上されており、賛成します。

平成29年度吉賀町下水道事業特別会計予算

【下水道料金の徴収について】

河村(由)議員

- ◆ 徴収率が毎年99.5%で計上されていますが、100%徴収するという姿勢をもって、私債権放棄に繋がらないような目標を立てて厳しくやっていくことが必要だと思えますが、いかがですか。

【建設水道課長】

昨年の実績をもとに算出していますが、100%徴収していくのが当然であり、徴収率向上に向け今後も努力していきます。

蔵木中・六日市中統合検討委員会設置条例の制定について

反対討論

庭田議員

* 教育委員会は、統合ありきで設置条例を上程しており、行政の主張を住民に押し付けるやり方に、非常に問題があります。

まず、住民に統合がどうなのかを本気で考えていただいてから、方針を打ち出すべきと考え反対します。

賛成討論

藤升議員

* 統合の方針を出す前に教育長自ら地元保護者の意見を伺ってからのスタートです。

設置条例は、統合の時期について明示

しているものでもなく、検討委員会において新中学校設立に必要な準備を進める目的があります。

子供たちの教育における環境を考え、成長を助ける一助になればという思いで賛成します。

桜下議員

* 検討委員会の前に準備委員会を立ち上げ、いろいろなことが話されましたが、子どもたちを第一に考えるということで、検討委員会には自治会・保護者の方も含まれており設置条例に賛成します。



平成29年 第1回臨時会

【平成29年1月11日】

【議案第1号】

◆請負契約の変更について

- ・平成28年度六日市中学校改修工事

【議案第2号】

◆平成28年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第3号)

- ・発電所放水路の地盤沈下調査

【議案第3号】

◆平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第8号)

- ・社会福祉協議会除雪機レンタル

平成29年 第2回臨時会

【平成29年2月6日】

【議案第4号】

◆請負契約の変更について

- ・平成28年度サクラマス交流センター建築工事

【議案第5号】

◆請負契約の変更について

- ・野外彫刻制作委託

【議案第6号】

◆請負契約の締結について

- ・平成28年度吉賀町立小学校空調機設置工事

【議案第7号】

◆動産購入契約の締結について

- ・特別養護老人ホームとびのこ苑備品(浴槽什器)購入事業

【議案第8号】

◆平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第9号)

- ・西中国信用金庫10周年記念寄附金
- ・教育委員会職員・臨時・非常勤職員の報酬、賃金、手当

全 員 協 議 会

◇平成29年第1回 平成29年2月16日

《吉賀町公共施設等総合管理計画》

☆吉賀町の公共施設の全体像・類型別保有状況を把握し、長期的な視点で更新や統廃合等を計画的に行うため作成された。

桜下 議員

◆ 長期的な視野に立っての計画というが、廃止による“住民サービスの低下はしない”ということが前提にありますか。

【落合主幹】

ご指摘のとおりです。

《吉賀町高齢者運転免許自主返納支援事業》

☆高齢者が関与する交通事故が増加しているため、町内在住の65歳以上の運転免許所持者が、自主返納した時、最初の1年間に限り、六日市交通・柿木産業が運行するバス（石見交通を除く・岩国市営については交渉中）の年間利用券を発行する仕組み。

河村(由) 議員

◆ バスの利用券は、終身ですか。また、勘違い等により、早々に返納して、後で困る場合もあります。判り易く親切に広報できませんか。

【赤松総務課長】

バスの利用券の有効期限は1年間としています。3月議会で、承認が得られれば、ご指摘のように、誤解されないように周知します。

《吉賀町住民票の写し等に係る本人通知制度》

☆全国的に住民票や戸籍謄本等の不正請求が多発しているため、代理人や第三者から請求があった場合は、証明書等を交付した事実を登録者に郵便で通知することにより不正請求の早期発見や抑止効果を図る制度。

《中山間地域対策プロジェクトチームによる現場支援》

☆県の中山間地域研究センターの研究者・西部県民センターの地域振興課の職員・町の担当者で構成するチームが、公民館エリアを基

本単位とした地域に、行政指導ではなく住民の話し合いと地域の活動に直接かかわりながら、地域の課題解決にむけた実践を継続的にかつ総合的に支援するもので、柿木地区を現場支援地区に選定した。

《吉賀町障がい者施設整備基本計画》

中田 議員

◆ 計画変更という説明だが、町としても大事な施設なので、当初から計画変更の起きないような基本計画となりませんか。

【宮本保健福祉課長】

障がい者施設については、町としては経験がないため、議会の提案や障がい者団体の申し出等により、より良い方向で、計画変更しています。

庭田 議員

◆ グループホームと地域活動支援センターを一括で発注した方が、効率が良いのではありませんか。

【宮本保健福祉課長】

制度上2つの施設を同一敷地上に建設してはいけない事となっています。

《子育て世代包括支援センターの設置》

☆平成32年度末までに全市町村で設置が求められている事業

* 妊娠期から子育て期にわたるまで地域の特性に応じた支援体制

* 妊娠から子育てまで、個別のニーズを把握した情報提供や相談支援

* 地域等のネットワークを構築し、社会資源を開発する

平成29年度から母子保健型と利用者支援事業の基本型を一体的に実施するため、保健福祉課に内室で2名のコーディネーターを雇用して実施する。

大多和 議員

◆ 保健師・助産師・社会福祉士・保育士等を嘱託雇用の体制とされているが、正規の町職員として雇用できませんか。

【宮本保健福祉課長】

現況では、2名の正規職員を雇用してまで支援事業をしなくてはならないような状

況ではありません。議会と住民と町執行部とが、そのニーズに対する提供側のマンパワーについては、必要となった時点で議論する方が良いと考えています。

◇平成29年第2回 平成29年3月2日

《地域ぐるみの鳥獣被害対策》

☆高齢化が進んだ現在、今後の農地を鳥獣被害から守るには、農業者集落自らが鳥獣に対する状況を正しく理解し、集落全体で、個々がそれぞれ一体となって対応する必要がある。

《吉賀町水道事業経営戦略》

☆町内にある8つの簡易水道及び1つの専用水道、2つの飲料水供給施設並びに4つの用水施設を平成29年度から統合して、公営企業法の適用を受ける水道事業へ移行する。

桜下議員

◆ 水道料金の値上げはしないと聞いているが、32年度に20%、35年度に10%の料金改定との記述がありますが、値上げせざるを得ないのですか。

【町長】

国の方針では、一般会計からの繰り入れはかなり厳しくなります。今の状況では値上げせざるを得ない状況という事は承知して頂きたい。これをいかに値上げしないで対応していけるかは、今後我々の努力だと考えています。

河村(隆)議員

◆ 電気やガスは空き家の場合使用しなかった場合、料金は徴収されません。水道の場合は、中止して再び使用を開始すると新規の加入料(かなり高額)が必要となります。空き家の期間中で水道を使用しなくても、基本料金は支払う必要があります。空き家バンクに登録した場合は、基本料金の減免などは考えられませんか。

【町長】

空き家の場合、使用しないときは料金を払わず、新たに使用する場合には加入料を徴収しています。仮に徴収しないとなると少ない職員で対応しており、経費が発生し、対応が複雑なため、今までを踏襲していま

すが、実態を把握して今後の検討課題とします。

《真田グラウンド照明施設設置》

大多和議員

◆ 照明施設の柱を利用した昇降式の防球ネットを設置したらと考えるが、構造的に耐えられる施設となりますか。

【光長次長】

防球ネットに関し、要望は承知していません。ポールが過重に耐えられるかは、設計の中で検討します。

《よしか公設塾》

☆林業総合センターを利用して、吉賀高校生の大学進学率向上を目指す公設塾を開設する。
* 期間は、6月から翌年2月
* 週3日間とし、核となる数学と英語とその他の科目
* 当面は、最初からすべてを満足する内容にはならないが、当面スタートして今後順次整備していく

桑原議員

◆ 町が開設する塾に対し、利用できない高校生には、差別的ではありませんか

【町長】

個別的な面もありますから高校の中で、問題を提起されれば、それに対処していこうと考えています。

《町役場改修工事》

中田議員

◆ 空調設備で、1階と2階とで、設備が違うがなぜですか。

【赤松総務課長】

使用頻度とランニングコストにより1階はマルチ型エアコンとし、2階は、ガスヒートポンプにしました。

庭田議員

◆ ランニングコストの試算はされていますか。

【赤松総務課長】

正確にはしていませんが、設計士によると、現状の半分くらいです。

『議決結果確認表』

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

【全議員が賛成で可決した議案（欠席者を除く）】

	議案番号	件名 (議案の内容)
第1回臨時会	議案第1号	請負契約の変更(六日市中学校改修工事)
	議案第2号	平成28年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第3号	平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第8号)
第2回臨時会	議案第5号	請負契約の変更(野外彫刻制作委託)
	議案第6号	請負契約の変更(吉賀町立小学校空調機設置工事)
	議案第7号	動産購入契約の締結(とびのこ苑浴槽什器購入事業)
	議案第8号	平成28年度一般会計補正予算(第9号)
第1回定例会	議案第9号	平成28年度吉賀町興学資金基金特別会計補正予算(第1号)
	議案第10号	平成28年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
	議案第11号	平成28年度吉賀町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)
	議案第12号	平成28年度吉賀町小水力発電事業特別会計補正予算(第4号)
	議案第13号	平成28年度吉賀町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第14号	平成28年度吉賀町下水道事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第15号	平成28年度吉賀町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
	議案第16号	平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第10号)
	議案第17号	吉賀町過疎地域自立促進計画の変更
	議案第18号	請負契約の変更(平成28年度吉賀町立小学校空調機設置工事)
	議案第19号	吉賀町子育て世代包括支援センター設置条例の制定
	議案第21号	吉賀町非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正
	議案第22号	吉賀町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正
	議案第23号	吉賀町税条例等の一部改正
	議案第24号	吉賀町地域自立支援協議会設置条例の一部改正
	議案第25号	吉賀町家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第26号	吉賀町斎場条例の一部改正
	議案第27号	吉賀町営住宅条例の一部改正
	議案第28号	平成29年度吉賀町興学資金基金特別会計予算
	議案第29号	平成29年度吉賀町国民健康保険事業特別会計予算
議案第30号	平成29年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	
議案第31号	平成29年度吉賀町介護保険事業特別会計予算	
議案第32号	平成29年度吉賀町小水力発電事業特別会計予算	
議案第33号	平成29年度吉賀町下水道事業特別会計予算	
議案第34号	平成29年度吉賀町農業集落排水事業特別会計予算	
議案第35号	平成29年度吉賀町一般会計予算	
議案第36号	平成29年度吉賀町水道事業会計予算	
議案第37号	平成28年度吉賀町一般会計補正予算(第11号)	

【賛成多数で可決した議案】

○:賛成 ●:反対 欠:欠席

	議案番号	件名	桑原	大多和	三浦	桜下	中田	河村隆	藤升	河村由	庭田	潮
臨時第2回 会回	議案第4号	請負契約の変更(サクラマス交流センター建築工事)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	●
第1回 定例会	議案第20号	蔵木中・六日市中統合検討委員会設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	発議第1号	過疎地における水道事業への過疎債適用を求める意見書(案)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第2号	米の所得補償交付金の復活を求める意見書(案)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●

3月8日(水)に現地調査を行いました。



〔蓼野橋剥落防止ネット設置〕



〔彫刻の道公園整備〕



〔正国公園遊具設置〕



〔生しいたけ菌床生産施設〕

※一般質問の内容は、本人の原稿をもとにしています。

町営住宅の家賃は、町長の裁量で安くならないか



大多和安一

【問】吉賀町まちづくり計画が更新されるが、将来の人口予測は、残念ながら減少の方向です。「吉賀町1万人を目指して」と夢のある計画としたいものです。

施政方針の中で、町営住宅の建て替え等による快適な住環境を整備することとしてありますが、町営住宅の家賃が高すぎます。

町営住宅に入居する基準年収の上限はいくらですか。また、入居後に家賃が上がることはありませんか。

〈町長〉町内の公営住宅は、低所得者に対して、住宅供給を目的としており、中原団地外12団地に154戸の住宅を整備しています。

入居の際には、収入基準以下でないと入居できません。家賃は、年間所得額・住宅の面積・建築年度・立地場所等により決定します。

夫婦2人だと年間合計所得が、2,276千円以下でないと入居できません。公営住宅の場合は、補助金や起債等が原資ですから、法律等で家賃等が

定められており、町長の裁量での家賃設定は困難です。公営住宅の家賃は、同居者の状況によっては、所得基準が下げられる場合もあります。また、所得が基準を超える場合は、家賃が上がるか退去して頂く場合もあります。ちなみに、昨年完成した“とびのこ山団地”では、世帯合計所得が、3,108千円の場合月額家賃131,800円となります。

年間の所得合計額が、2,276千円を超える場合は、特定優良住宅、若しくは定住住宅・公社住宅への入居は可能です。

特定優良賃貸住宅（家賃：4万円～5万5千円）が19戸（注連川・白谷・七日市）、定住住宅（家賃：3万5千円～5万円）が45戸（溝上・グレースマンション・樋口・朝倉）、公営住宅（家賃2万円～4万円）が18戸（ユースパーク六日市・福川本郷住宅）です。

空室が出来た場合は、随時募集し、応募者多数の場合は、抽選いたしますが、すぐに入居が決定する状況です。

柿木中心部の総合的な整備計画策定を



藤升 正夫

【問】柿木には独立した図書館といえるものがなく、柿木公民館の図書室がその役割を担っています。この図書室を、柿木中学校図書室へ移すことを提案します。

〈教育長〉柿木公民館の図書室は、読書環境にふさわしいものとは言えないと思っています。

公民館再編の調査結果が今月末出てきます。図書室機能をどうするか考える中で、図書館の設置について検討したいと思っています。

【問】はとの湯荘、柿木基幹集落センター、地域間交流拠点施設とその周辺を一体的に捉えた整備について、関心を持つ幅広い関係者とともに検討することを求めます。

〈町長〉柿木地区においては老朽化したものをどうしていくかが課題となっています。総合的に対処するために、執行部内で関係機関を集めて検討しながら、柿木地域振興協議会へ提案していこ

うと考えています。

多少、時間はかかると思いますが、丁寧な対応をしていく考えです。

【問】町内には空き家が増えてきています。古い空き家になると、倒壊や屋根・外壁の剥離・飛散、屋根から落ちる雪による危険、衛生上の問題、手入れされない植木による通行上の障害、景観を悪くするなど様々な影響をもたらします。

緊急を要する空き家への対策と、空き家対策特別措置法への対応を求めます。

〈町長〉緊急性を要すると思われる空き家については、これまで空き家の持ち主や相続人に対し、文書や面接により対象家屋の解体や瓦、木材、樹木等の飛散防止をおこなうよう助言指導をしています。

空き家等対策計画の作成、協議会の設置は法律上任意となっていますが、早急に関係機関と協議を行い調整したいと思っています。

今後の経済対策とゆらら足湯跡の対策は



三浦 浩明

【問】 過去3年間の本町の建設工事において、学校、小水力発電、真田グラウンド、彫刻の道、住宅、サクラマス交流センター等のインフラ整備、経済、観光に繋がる建設を手掛け、吉賀町人口ビジョン、総合戦略の目標に向けて少しずつ推移しているように思われます。

人口増加を図るには相当のてこ入れをしなければ達成できないと思います。

町を活性化させるためには人口、住宅、仕事の3要素が揃わなければなりません。今後、町の発展に繋げる経済対策を聞きます。

〈町長〉 日本が人口減少社会に突入してから、日本全国で人口対策に苦慮しています。本町におきましても、今後の大きな課題であるということは自明の理でございませぬ。相当の覚悟をもって、てこ入れが必要だということは理解しています。

人が住み続けていくには、安全で安心できる町でなければなりません。文化を共有できる施設や情報も必要です。

また、収入を得るためには職も必要であり、これまでに様々な事業を展開してきました。建築事業を含め、改修、改善、新規事業などやらなければならないことが沢山ありますが、裏づけとなる財源また費用対効果等考慮の上、決定しなければならないと思います。

【問】 ゆららの足湯跡がそのまま放置されていますが、今後、彫刻の道のオープンも控え、町外からの観光客にとっても印象の良いものではありません。

観光事業を進める中、景観もよく、良い印象が持てるような早めの整備が必要と思われませぬが、今後の対策を聞きます。

〈町長〉 足湯につきましては、一度も使われなく失敗作の事業であったと理解しています。非常に印象が悪いので、砂湯やトロピカルなフルーツを植えるなど温泉にふさわしいものを早急に検討します。

自治振興交付金の制度について



桜下 善博

【問】 平成23年度より自治会活動を活性化し、町民と行政の協働によるまちづくりを進めるためにこの制度が設けられました。

公民館単位の自治振興活動に、人的、財政的支援を行う趣旨で交付金が交付されていますが、昨年4月より用途が限定されました。

半分が従来どおり集会所の修繕、備品の購入、地域活動の補助等で、残り半分が新しく人口対策、空き家対策、町外との交流事業などの研修、人材育成などの補助に変わりました。

その結果、各自治会、公民館が使いにくいと苦慮しています。交付金の申請を出していない、申請をしても活動をしていない自治会もあります。

制度を見直すべきではありませんか。

〈町長〉 この制度は、各公民館単位の自治会に一律150万円、それに人口、世帯数を上乗せをし、総額1,000万円の交付金であり、地域が元気でないと、町も元氣にならないという趣旨で、地域に

配分するものです。

昨年度までの実績では、備品の購入に80%、活動費には16%しか使われていません。

これを受けて、制度を設けて5年経過しましたので、用途を見直しました。

2月までの申請、実績からみても、使いにくいということは理解しますが、今後の5年間を見据えた制度です。地域振興の弊害になるようであれば改めますが、見直したばかりですので、もう少し時間をいただきたいと思ひます。



誰のための学校統合なのか



庭田 英明

【問】 新しい教育委員会制度では、教育の目標や施策の根本的な方針を示した教育行政の指針となる大綱を策定することになっています。一年が経過しましたが、大綱は策定されていますか。

〈教育長〉 まだ、策定されていません。

【問】 大綱もないのに教育行政が進められるのですか。この度「蔵木中、六日市中統合検討委員会」の設置条例が上程されました。平成25年10月には、当時の教育委員会は、統合の全てを白紙に戻すこと決定しています。

これをどのように総括され、この度の計画に至ったのですか。

〈教育長〉 子どもたちを取り巻くさまざまな課題を解決するために「活力ある学校づくり検討委員会」を設置し、この答申をもとに「吉賀町教育振興計画」を策定しました。

すべてはこの計画をもとにして動いています。

【問】 答申には、学力の向上や子どもたちが学ぶ環境の整備などに議論の大部分が費やされています。また、学校の再編は検討すべきでないとして明記されています。唯一但し書きされている極小規模の中学校の個別検討にこだわっている理由は何ですか。

〈教育長〉 一にも二にも、蔵木中学校の保護者の方が一刻も早い統合を願っているからです。

【問】 行政の基本は、住民自治であり主権は住民にあります。教育委員会が統合という方針を持つことを否定はしません。しかし、当然のことですが、決定するのは住民ではないのですか。

〈教育長〉 蔵木地区では、大筋で統合はやむを得ないという合意をいただいていると思っています。

ふるさと納税と環境税の歳入について



河村由美子

【問】 ふるさと納税特産品カタログを東京都内の郵便局150箇所所に1,500部配布して本町のPRをした結果、27年度は495万円となっていますが、返礼額はどれくらいですか。

また、環境税の歳入はいくらで何に使われますか。

〈町長〉 郵便局と連携し、3万円以上の寄附者に対し、地元特産品を33件、185千円支払っていますが、納税額は、県下で一番低いという状況です。今後特産品の種類を増やし、寄附の増額に努めます。

環境税は、均等割の納税者は2,843人で、個人は142万円余り、法人は55万円余りです。

この歳入は、今年度みろく公園の山の整備に充てます。

【問】 返礼品目を増やし、互産互消も視野に歳入増を期待しますが。

〈町長〉 入るを量って、出ざるを制することが一番と思います。

【問】 婚活と定住について、過去数回質問と提言をしましたが、なかなか成果が上がっていないのが実態です。投資と手法に問題があるのか手詰まり感があります。相変わらず地方からの若者流出も止まらない状況の中、都市部で暮らす方の中には、仕事があれば移住したいと思っている人も多いとのアンケート結果があります。今後、県境を越えて広域での連携は考えられませんか。

〈町長〉 議員の提案や意見に沿い、努力をしてきました。昨年は「恋、来い大作戦」の婚活事業を行いました。関東関西の方も参加され成果があったと聞いております。

人口減少は、町の活力が衰退し、経済のみならず、文化、観光、医療、教育及び行政への影響も計り知れない側面がありますので、今後も引き続き手法を凝らし精力的に取り組めます。

住民の所得向上と教育の魅力化は



桑原 三平

【問】 新年度の施政方針は健全財政第一を旨とした行政執行が不偏であり、引き続き町政を取り巻く諸情勢の環境整備に傾注することです。

その方針の内容において、住民の所得向上に関する記述は見受けられませんが、環境整備の施策が住民の所得や生活にどの様に反映し、有効なのか聞きます。

〈町長〉 人口の減少で町の活力を衰退させ、経済も縮小していく中、高齢化や事業継承者の不足による事業や経営の縮小・廃止が出現するのはやむを得ないと思います。

このような環境において、米産業の町は米の消費を自ら増やしていく、有利販売に活路を求めていかなければならないと考えています。

他産業においても、基盤となる産業の強化を図り、付随産業の生成と育成により住民の所得向上につなげたいと考えています。

【問】 島根県教育委員会は、中山間地域・離島で展開する教育魅力化・活性化事業を小中学校等含めて全県に拡大する素案をまとめたことですが、この素案とこれを踏まえた学力向上について聞きます。

〈教育長〉 教育の魅力化は、地方創生や中山間地域の活性化を支援する施策の一つとして県は、ふるさと教育を進める事で地域を支える人材を育てることが事業と捉えています。

町では平成24年度からサクラマスプロジェクト事業を始めており、県の事業と同じような目的で作られています。

このプロジェクトは5年間、関係者により努力され全国的に胸を張れる教育プログラムです。地域社会全体で子供の成長を支える、このことが一番大事だと考えています。

学力向上について、島根県でも低位です。自宅での学習時間を増やすことを指導しながら、バランスのとれた成長を考えています。

高齢者運転免許証自主返納と避難所について



中田 元

【問】 全員協議会で提案のあった「吉賀町高齢者運転免許自主返納支援事業」の内容は次のとおりです。

☆目的：運転免許を自主返納した高齢者に対し、安全・安心の交通社会の実現を図る。

☆支援の対象者：町内在住の65歳以上の高齢者で、運転免許を自主返納した者。

☆支援の内容：返納した1年間に限り、年間3万円のバス利用券の交付。

旧六日市町に在住者は、六日市交通、旧柿木村に在住者は柿木産業のバスに限る。

☆申請方法：運転免許の取消し通知書・返納した運転免許証の写しを付して1年以内に申請。

この制度が有っても利用できない地域があります。バスの利用券だけに限らずタクシー券も選択対象にし、自主返納者が一人でも多くこの制度を利用できるようにし、1年と限らず2年目は2万円、3年目は1万円とする制度として、高齢者にも優しく、住みやすい吉賀町とし、安心して免許

証の返納ができる制度にしたらと考えます。

返納方法は津和野署へ出向く必要があります。免許の復活は出来ませんので、町民への周知方法を伺います。

〈町長〉 議員の提案により、この事業を29年度から開始予定で、岩国市営バスとは現在協議中です。3年間の期間という提案について、今までに返納した方との均衡を取るため1年とし、乗車範囲は、町内一円とします。周知については回覧やケーブルテレビにて行ないます。開始時期は5月以降となる予定です。

【問】 自主避難所について、七日市地区にも設置して頂きたい。六日市まで行くには危険すぎるとの声を聞きますが如何ですか。

〈町長〉 住民の要望も強く、20分以内という事で、昨年からの七日市地区に自主避難所を開設しケーブルテレビ等で周知しています。

超高齢化社会にむかって



河村 隆行

【問】 町の臨時、嘱託職員の募集時や、町内企業の職員募集などに、65歳までとありますが、職種にもよりますが、70歳までにしたらどうでしょうか。

〈町長〉 公募しても応募者がいないような場合は、65歳以上の雇用も検討します。

【問】 特産について高齢者が、少しずつでも生産し、継続していけるよう、出来る限りの支援が必要です。各特産振興会や、生産者などの話を聞いて欲しいのですが。

〈町長〉 つないでいくことへの支援など、行政として力を入れていきます。

【問】 移動手段の確保について伺います。デマンドバスや、生活バスなどありますが、乗り場まで行くことや、荷物を持つての移動など大変苦労されています。タクシー券などの配布をもう一度

考えたらどうでしょうか。

〈町長〉 一律というのではなく、高齢者の方で移動手段のない方、交通弱者等については、対処する必要があると思います。



発議

【発議第1号】

- ・過疎地における水道事業への過疎債適用を求める意見書（案）

【発議の理由】

円滑な水道事業を進めるため

○発議者 藤升正夫議員

総務常任委員会付託審査結果 可決
本会議採決 可決（賛成多数）

【発議第2号】

- ・米の所得補償交付金の復活を求める意見書（案）

【発議の理由】

国民の食糧と地域経済、環境と国土を守るため

○発議者 藤升正夫議員

経済常任委員会付託審査結果 可決

本会議採決 可決（賛成多数）

経済常任委員長報告に対する質疑

庭田議員

- ・規模拡大という国の政策と町が行っている施策との関係、また減反政策とこの交付金の打ち切りをどのように協議しましたか。

中田経済常任委員長

- ・交付金があると減反もしやすくなるという観点から交付金の復活を求める結論に至りました。

最近の主な議会動向

月 日	用 務	出席者
12月18日	山陰道浜田・三隅道路開通式〔浜田市〕	議長
12月19日	島根県町村議会議長会監査会〔松江市〕	議長（会長）
12月20日	総務常任委員会（障がい者施設視察）〔山口市・宇部市〕	総務委員・議長
1月6日	議会広報特別委員会	広報委員・議長
1月8日	吉賀町消防出初式	議員
1月11日	第1回臨時会	議員
1月11日	議会広報特別委員会	広報委員・議長
1月12日	島根県町村議会議長会正副会長会〔松江市〕	議長（会長）
1月14日	公明党島根県本部新年賀詞交歓会〔浜田市〕	議長
1月16日	議会広報特別委員会	広報委員・議長
1月16日	鳥取県江府町視察受入	議長
1月17日～18日	中国地区各県町村議会議長会会長会議〔岡山県和気町〕	議長（会長）
1月24日	経常任委員会津和野土木事業所協議〔津和野町〕	経済委員長・議長
2月6日	第2回臨時会	議員
2月7日～9日	全国町村議会議長会定期総会ほか〔東京都〕	議長（会長）
2月14日	福岡県久山町視察受入	議長
2月16日	第1回全員協議会	議員
2月17日	島根県市町村振興協会評議員会〔松江市〕	議長（会長）
2月19日	石見西地区郵便局長会通常総会〔益田市〕	議長
2月20日	島根県市町村総合事務組合議会〔松江市〕	議長（会長）
2月20日	鹿足郡一部事務組合議会定例会〔吉賀町・津和野町〕	組合議員
2月21日	島根県町村議会議長会定期総会及び自治功労者表彰式〔松江市〕	議長・藤升議員
2月23日	益田地区広域市町村圏事務組合議会〔益田市〕	組合議員
3月1日	吉賀高校卒業式	議員
3月2日	第2回全員協議会	議員
3月2日	議会運営委員会	議運委員・議長
3月3日	六日市学園卒業式	議員
3月6日～22日	第1回（3月）定例会	議員

編 集 後 記

今年も桜の季節となりました。

4月5日の六日市学園の入学式では、まだ堅かったつぼみも8日の吉賀高校の入学式ごろからほころび始め、11日の小中学校の入学式では満開の花模様となりました。

ご本人、ご家族、関係者の方々にお慶びを申し上げます。

各小学校の新入生は、蔵小2名、六小7名、朝小3名、七小7名、柿小13名で計32名、中学校は蔵中4名、六中14名、吉中24名、柿中13名で計55名です。

また、吉賀高校では37名（定員40名）の新入生で、そのうち12名がサクラマス交流センターに入居しています。交流センター入居者は3年生2名、2年生6名総勢20名となりました。

サクラマスプロジェクト事業や子育て支援事業等の効果により、町の活性化が期待されます。

（桑原三平）